

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	府中市民芸術文化祭事業			事務事業コード	30430100
概要	市民芸術文化祭の実施				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	43	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	昭和39年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市民芸術文化奨励賞の選考及び授与等に関する要綱、感謝状の贈呈に関する基準				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	参加者：日頃から自主的に芸術活動を行っている市民 参観者：全市民				
事業目標	市民相互の文化の交流や、これまで芸術文化に親しみのなかった市民が芸術文化に親しむことを促進し、府中市がこれまで培ってきた伝統や文化を次世代へ継承していくことを目標とする。				
事業内容	府中市芸術文化協会（旧称：府中市文化団体連絡協議会）との共催により、市内各施設において催し物を実施する。各事業については、公演や展示など、一般市民の参加を呼びかけ、広く事業に参加できる方法をとっている。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 市民芸術文化祭の参加者数	5,458	計画値	5,520	5,540	5,560	5,800	5,800	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	2,947	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	新型コロナウイルスの影響により一部事業が中止となったため														
② 市民芸術文化祭の参観者数	116,898	計画値	119,400	119,800	110,000	127,000	127,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	40,852	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	新型コロナウイルスの影響により一部事業が中止となったため														

(※) 要因の種類

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	12,096,000	12,194,000	11,407,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	12,096,000	12,194,000	11,407,000	0	0	0
予算現額	259,000	12,167,000	0	0	0	0
決算額	51,714	8,506,366	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	51,714	8,506,366	0	0	0	0
執行率	20.0%	69.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.73	1.01				
職員人件費	5,719,409	8,081,788				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	160,967	205,225				
総コスト	5,932,090	16,793,379	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
令和5年9月4日オープニングフェスティバルから約3か月間 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センター「ブラッツ」・美術館・郷土の森博物館・文化センター・大國魂神社内・ルミエール府中	府中市芸術文化協会との共催により、全39事業を実施する。 府中市芸術文化祭等に関するPR方法や運営方法を創意工夫し、新型コロナウイルス感染対策も含め開催方法を検討する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
令和4年9月11日から11月28日まで 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センター「ブラッツ」・美術館・郷土の森博物館・文化センター・大國魂神社内・ルミエール府中	府中市芸術文化協会との共催により全31事業を実施した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
令和5年9月16日から11月25日 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センター「ブラッツ」・美術館・郷土の森博物館・文化センター・大國魂神社内・ルミエール府中	府中市芸術文化協会との共催により、全33事業を実施する。 府中市芸術文化祭等に関するPR方法や運営方法を創意工夫し、新型コロナウイルス感染対策も含め開催方法を検討する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	文化・芸術の振興・伝統文化の次世代への継承のため、市民からの要望が高い事業である。令和6年度は芸術文化祭の主な実施会場である府中の森芸術劇場が改修工事により休館となるため、他会場で実施をする予定である。各加盟団体の催しについては、使用会場に合わせた事業内容を検討、実施していただく必要がある。なお、会場の収容人数が少なくなり、参観者数が減少する見込みであることから、参観者数を維持するため、催し物の効果的な周知方法等について検討する必要がある。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	1	
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

(単位:円)

6 構成事業一覧

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	10	0276000	市民芸術文化祭運営費	12,194,000	8,506,366	11,407,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							12,194,000	8,506,366	11,407,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	武蔵国府太鼓普及事業			事務事業コード	30430200
概要	郷土芸能の伝承及び普及				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	43	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	昭和57年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	なし				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	市民、府中囃子保存会、武蔵国府太鼓連盟等				
事業目標	市の郷土芸能である府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承及び普及				
事業内容	<p>1 府中囃子伝承普及事業 府中囃子保存会に演奏技術伝承事業を委託し、後継者の育成と演奏技術の伝承を図る。また、平成29年に作成した府中囃子の演奏を収録したCDを販売し、府中囃子の普及を図る。</p> <p>2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 武蔵国府太鼓連盟に演奏技術伝承事業を委託し、後継者の育成と演奏技術の伝承を図る。また、平成3年に作成した武蔵国府太鼓の演奏を収録したDVDを販売し、武蔵国府太鼓の普及を図る。</p>				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
① 府中囃子及び武蔵国府太鼓の認知度	-	計画値	50	55	60	65	65	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	67.7	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	囃子、太鼓の講習会の実施のほか、青少年音楽祭や市民芸術文化祭への出演により認知度が高まっていると思われる。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	2,291,000	2,289,000	1,655,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,291,000	2,289,000	1,655,000	0	0	0
予算現額	2,291,000	2,306,000	0	0	0	0
決算額	1,784,081	2,099,721	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,784,081	2,099,721	0	0	0	0
執行率	77.9%	91.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.22	0.25				
職員人件費	1,723,658	1,979,213				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	48,510	50,259				
総コスト	3,556,249	4,129,193	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
1 府中囃子伝承普及事業 (1) 府中囃子演奏技術伝承事業委託 (2) 府中囃子CDの販売 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 (1) 武蔵国府太鼓演奏技術伝承事業委託 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 (2) 武蔵国府太鼓DVDの販売		府中囃子保存会に演奏技術伝承事業を委託し、後継者の育成と演奏技術の伝承を図った。また、府中囃子のCDを販売し、府中囃子の普及を図った。 後継者の育成と演奏技術の伝承を図るために実施する武蔵国府太鼓講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 武蔵国府太鼓のDVDを販売し、武蔵国府太鼓の普及を図った。



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
1 府中囃子伝承普及事業 (1) 府中囃子演奏技術伝承事業委託 (2) 府中囃子CDの販売 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 (1) 武蔵国府太鼓演奏技術伝承事業委託 (2) 武蔵国府太鼓DVDの販売	府中囃子保存会に演奏技術伝承事業を委託し、後継者の育成と演奏技術の伝承を図る。また、府中囃子のCDを販売し、府中囃子の普及を図る。 武蔵国府太鼓連盟に演奏技術伝承事業を委託し、後継者の育成と演奏技術の伝承を図る。また、武蔵国府太鼓のDVDを販売し、武蔵国府太鼓の普及を図る。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
1 府中囃子伝承普及事業 (1) 府中囃子演奏技術伝承事業委託 (2) 府中囃子CDの販売 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 (1) 武蔵国府太鼓演奏技術伝承事業委託 (2) 武蔵国府太鼓DVDの販売		府中囃子保存会に演奏技術伝承事業を委託し、後継者の育成と演奏技術の伝承を図った。また、府中囃子のCDを販売し、府中囃子の普及を図った。 後継者の育成と演奏技術の伝承を図るために実施する武蔵国府太鼓講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から年度途中からの実施した。 武蔵国府太鼓のDVDを販売し、武蔵国府太鼓の普及を図った。



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
1 府中囃子伝承普及事業 (1) 府中囃子演奏技術伝承事業委託 (2) 府中囃子CDの販売 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 (1) 武蔵国府太鼓DVDの販売 武蔵国府太鼓演奏技術伝承事業委託は府中文化振興財団の自主事業として実施する。	武蔵国府太鼓は、市の郷土芸能として市民に認識されつつあるが、継承団体数や規模は発展途上であり、講習会の修了者の処遇と併せて課題となっているため、府中文化振興財団と連携してよりよい事業となるよう検討する。 また、府中囃子・武蔵国府太鼓ともに、多くの人にとってため、作成したCDとDVDを活用して更に市内外へ広くPRする方法を検討する。

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	B 市の郷土芸能である府中囃子 (市指定無形民俗文化財) の保存伝承のために演奏技術伝承事業を実施している。 また、市の創作芸能である武蔵国府太鼓の演奏技術伝承事業として新規受講者の開拓を促しながら講習会を実施している。府中囃子の演奏を収録したCDや武蔵国府太鼓を収録したDVDの作成・販売をすることで伝承と市内外へ広く普及に努めている。 今後も継続して伝承・普及に努める。
C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	1

(単位:円)

6 構成事業一覧

R 4年度	R 5年度	6 構成事業一覧					予算事業名	R 4年度		R 5年度 当初予算額
		会計	款	項	目	事業 コード		当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0278000	民俗芸能伝承普及事業費	2,289,000	2,099,721	1,655,000	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
合 計							2,289,000	2,099,721	1,655,000	

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	文化活動支援事業			事務事業コード	30430300
概要	市民が主体的に取り組む文化活動の継承と振興のために支援を行う。				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	43	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和59年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市民文化活動に対する補助金交付要綱、府中市民芸術文化奨励賞の選考及び授与等に関する要綱、感謝状の贈呈に関する基準				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	▽文化事業補助金は、芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象とした文化事業、文化に関する施策。▽芸術文化奨励賞は、自主的な芸術文化活動において特に功績のあった個人または団体。▽文化活動功労賞は、芸術文化協会加盟団体の役員を1年以上経験した個人。				
事業目標	▽様々な芸術文化活動を補助し、市民文化活動を奨励することにより広く市民文化の振興と向上を図ることを目標とする。▽府中市文化芸術推進計画の推進を図る。				
事業内容	▽文化事業補助金は、市民が主体的に取り組んでいる文化振興活動でし、市民を対象として実施する文化事業に対して補助金を交付する。▽芸術文化奨励賞は、芸術文化活動において特に功績のあった個人または団体の候補者を募り、審査の上、該当者を決定する。文化活動功労賞は、芸術文化協会加盟団体の役員を1年以上務めた者を対象に、各文化団体からの推薦により候補者を募り該当者を決定する。共に府中市市民芸術文化祭開会式で表彰する。▽府中市文化芸術推進計画の進捗状況を把握し、次期計画策定に向けた検討を行う。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 市民文化活動に対する補助金等交付事業数	10	計画値	10	10	10	10	1	2	3	4	5	6	7	8
	事業	実績	10	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	補助金の交付要望通り申請がされ、計画的に実施した。													
		計画値					要因の類型(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	239,000	220,000	195,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	239,000	220,000	195,000	0	0	0
予算現額	239,000	220,000	0	0	0	0
決算額	107,474	199,241	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	107,474	199,241	0	0	0	0
執行率	45.0%	90.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.28	0.24				
職員人件費	2,193,746	1,896,746				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	61,741	48,165				
総コスト	2,362,961	2,144,152	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として、5事業のみに交付した。	11事業(団体)からの申請を受け付けたが、事業の中止が1事業(団体)と、事業未実施が5事業(団体)があり、5事業に交付した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
対象団体である府中市芸術文化協会加盟団体に事業の周知を図り、交付希望団体が増えるよう促していく。	府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付し、今年度は10事業(団体)からの申請を見込んでいる。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として10事業のみに交付した。	10事業(団体)からの申請を受け付け、10事業に交付した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
対象団体である府中市芸術文化協会加盟団体に事業の周知を図り、交付希望団体が増えるよう促していく。	府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付し、今年度は9事業(団体)からの申請を見込んでいる。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	芸術文化活動を支援(補助)することは、市民交流を深め、伝統文化や伝統芸能とふれあい、芸術文化への興味と理解を育み、健全な地域社会づくりに貢献できる。支援(補助)対象事業は入門講座や体験教室など初心者へ向けたものが多く、事業の参加をきっかけとして文化活動を始める市民も多いことから、本市の文化・芸術の振興のために必要な事業である。府中市の文化・芸術の振興並びに継承・育成を行っていくため、今後も事業を継続していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	1	
3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

(単位:円)

6 構成事業一覧

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	10	0277000	市民文化活動事業奨励費	80,000	59,241	69,000
2	01	10	35	10	0279000	補助金 文化団体活動事業費	140,000	140,000	126,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							220,000	199,241	195,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民文化の日運営事業				事務事業コード	30430400
概要	市民文化の日の実施。					
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課	
	施策	43	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	平成26年度～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	なし					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	全市民					
事業目標	市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境の形成を目標とする。					
事業内容	10月第2日曜日を「市民文化の日」と定め、郷土の森博物館、府中市美術館の入場料、観覧料を無料とするほか、その他各文化施設において各種イベントを実施し、市民が多くの芸術文化・歴史に触れられるよう整備する。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)									
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)									
① 市民文化の日の来場者数	11,803	計画値	12,000	13,000	14,000	15,000	15,000	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人	実績	10,949	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	ルミエール府中が休館中のため、市民会館は実施しなかった。また、図書館は生涯学習センター図書館で実施したため、来場者数が減少した。															
		計画値						要因の類型(※)								
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																

(※) 要因の類型

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	97,000	116,000	152,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	97,000	116,000	152,000	0	0	0
予算現額	99,000	143,000	0	0	0	0
決算額	98,082	136,224	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	98,082	136,224	0	0	0	0
執行率	99.1%	95.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.43	0.49				
職員人件費	3,368,967	3,958,427				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	94,816	100,517				
総コスト	3,561,865	4,195,168	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>10月10日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料展示等各種イベントを実施した。</p> <p>①府中の森芸術劇場、②市民会館、③郷土の森博物館、④ふるさと府中歴史館、⑤武蔵府中熊野神社古墳展示館、⑥生涯学習センター、⑦中央図書館、⑧都立府中の森公園、⑨府中市美術館</p> <p>スタンプラリーの代わりに、ワードラリーを実施した。</p> <p>来場者数 延べ11,803人</p>	<p>感染防止対策と参加者増加を目的として、ワードラリーを実施した。当日は、感染症防止対策を行いながら、可能な範囲で文化芸術に触れる機会を提供した。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<p>10月9日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、またはワードラリー等各種イベントを実施する。</p> <p>①府中の森芸術劇場、②市民会館、③郷土の森博物館、④ふるさと府中歴史館、⑤武蔵府中熊野神社古墳展示館、⑥生涯学習センター、⑦中央図書館、⑧都立府中の森公園、⑨府中市美術館</p>	<p>感染防止対策として、令和3年度から引き続き、ワードラリーを実施する。当日は、業種別ガイドライン及び国や都の方針に沿った感染症拡大防止対策を行い、安心して参加できるイベントとなるよう配慮しながら、文化芸術に触れる機会を提供する。</p>

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>10月9日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料展示等各種イベントを実施した。</p> <p>①府中の森芸術劇場、②郷土の森博物館、③ふるさと府中歴史館、④武蔵府中熊野神社古墳展示館、⑤国司館と家康御殿史跡広場、⑥生涯学習センター、⑦生涯学習センター図書館、⑧都立府中の森公園、⑨府中市美術館</p> <p>ルミエール府中は休館中だったため、市民会館は実施しなかった。</p>	<p>令和3年度に引き続き、感染防止対策のため、ワードラリーを実施した。文化芸術に触れる機会を提供した。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<p>10月8日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、ワードラリー等各種イベントを実施する。</p> <p>①府中の森芸術劇場、②市民会館、③郷土の森博物館、④ふるさと府中歴史館、⑤武蔵府中熊野神社古墳展示館、⑥国司館と家康御殿史跡広場、⑦生涯学習センター、⑧中央図書館、⑨都立府中の森公園、⑩府中市美術館</p>	<p>引き続き、スタンプラリーの代わりに、ワードラリーを実施する。当日は安心して参加できるイベントとなるよう配慮しながら、文化芸術に触れる機会を提供する。</p>

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
<p>A 重点化・拡大して継続</p> <p>B 現状のまま継続</p> <p>1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</p> <p>2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</p> <p>3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</p>	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<p>「市民文化の日」のさらなる認知度向上を目指し、開催施設の管理者と連携しながら、事業の拡大方法や効果的なPR方法について検討するほか、けやき並木において市民が芸術文化を気軽に鑑賞・体験できるイベントを開催する。</p>
<p>C 見直して継続</p> <p>1 見直し・縮小</p> <p>2 他事業との整理・統合</p> <p>D 休止・廃止等</p> <p>1 休止</p> <p>2 廃止</p> <p>3 完了</p>		

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	10	0276500	市民文化の日運営費	116,000	136,224	152,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							116,000	136,224	152,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民会館管理運営事業			事務事業コード	30440100
概要	市民会館の管理及び運営				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	44	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	平成19年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市市民会館条例				
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当あり	交付金・補助金等の名称	住宅市街地総合整備促進事業費補助 地域防災拠点建築物整備緊急促進事業
対象	市民会館				
事業目標	当該施設を安心・安全かつ快適に利用していただき、稼働率を増加させることにより、より多くの市民に親しまれる文化施設とする。				
事業内容	榊原王設備サービスを指定管理者として、コンベンションホール飛鳥、会議室、音楽練習室等を有する市民会館の適正かつ計画的な管理運営を行い、以下の業務について指定管理者が行う。施設の維持管理業務（一部運営業務）については、SPCであるPFI府中市市民会館・中央図書館（株）が行う。令和4年10月以降は、第2期PFI事業の第2期PFI府中市市民会館・中央図書館（株）を指定管理者として運営を行う。 ・市民会館の使用許可に関する業務（不許可・条件変更も含む。） ・市民会館の使用に係る利用料金の徴収に関する業務（還付・減免を含む。） ・市民会館の運営に関する業務 ・物品販売の許可に関する業務				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
①市民会館平均稼働率	59	計画値	60	61	62	63	63	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	45.6	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響と、10月から2月まで期初修繕及び改修工事を行うために休館したことにより、基準値と比較し、稼働率が低下した。														
要因の具体的内容	計画値							要因の類型(※)							
	実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	179,316,000	317,346,000	99,284,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	94,900,000	0	0	0	0
その他	11,980,000	6,200,000	0	0	0	0
一般財源	167,336,000	216,246,000	99,284,000	0	0	0
予算現額	197,116,000	320,407,000	0	0	0	0
決算額	192,639,905	318,928,906	0	0	0	0
国庫支出金	0	5,459,000	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	83,500,000	0	0	0	0
その他	12,621,700	5,251,800	0	0	0	0
一般財源	180,018,205	224,718,106	0	0	0	0
執行率	97.7%	99.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.38	1.30				
職員人件費	18,646,841	10,390,871				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	524,808	263,860				
総コスト	211,811,554	329,583,637	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼(株京王設備サービスへの業務運営委託 ▼第3期指定管理(平成28年4月?令和4年9月) ▼PFI府中市民会館・中央図書館(株)への施設管理運営委託 【利用状況】 コンベンションホール、講師控室、レクリエーションルーム、音楽練習室、会議室、料理講習室 利用率 40.9%	前年度と比較し、利用率が上昇したものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う東京都からの要請を受け、夜間の利用時間の制限等を行ったことにより、通常時と比較すると利用率が低下している。引き続き安全で利用しやすい施設を目指す。次期PFI事業の入札に関する事務を行い、令和4年10月以降の次期PFI事業者及び指定管理者を決定し、PFI事業契約を締結した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
PFI事業者と連携して一体的な管理運営を行うとともに、第1期PFI事業から第2期PFI事業へ円滑に移行できるよう努める。また、期初修繕・改修工事に伴う施設の全館休館にあたり、施設利用者や近隣住民に丁寧な説明を行う。その他、令和5年3月の施設供用再開に向け、PFI事業者と連携し、施設のさらなる集客力向上に向けたイベント等を企画する。	第2期PFI事業が円滑に施設運営できるよう事業者と綿密な調整を図り、複合施設としてのメリットをさらに活かす取組を強化することで施設全体の利用率向上に繋げる。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼第3期指定管理(平成28年4月?令和4年9月)(株京王設備サービス ▼第2期PFI府中市民会館・中央図書館(株)への施設管理運営委託(令和4年10月～令和19年9月) 【利用状況】 コンベンションホール、講師控室、レクリエーションルーム、音楽練習室、会議室、料理講習室 利用率 45.6%	第1期PFI事業から第2期PFI事業へ円滑に移行することができた。また、期初修繕・改修工事をを行うに当たり大きなトラブル等もなく、予定通り完了することができた。令和5年3月の施設供用再開後、PFI事業者と連携し、館全体でリニューアルオープンイベントを企画し、多くの方にご参加いただくことができた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
統括管理責任者に情報を一元化し、きめ細やかな対応ができるよう努める。各種興行や参加体験型のイベントの自主事業を毎月実施する。市民会館・図書館・レストラン・カフェの各事業者が連携したイベントを実施する。	第2期PFI事業が円滑に施設運営できるよう事業者と綿密な調整を図り、複合施設としてのメリットを最大限活かす取組を強化することで施設全体の認知度や利用率向上に繋げる。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	引き続き、複合施設全体で連携した取組を図ることで、複合施設全体の認知度アップや稼働率向上を目指す。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止 2 廃止 3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

R 4年度	R 5年度	R 4年度		R 5年度					
		当初予算額	決算額		当初予算額				
1	01	10	35	30	0309950	利用料金還付金補償料	0	663,610	
2	01	10	35	30	0315000	施設管理運営費 業務運営委託料 (債務負担行為解消分)	3,607,000	3,606,636	
3	01	10	35	30	0315100	施設管理運営費 業務運営委託料	0	2,326,842	
4	01	10	35	30	0316500	施設管理運営費 諸経費	738,000	0	723,000
5	01	10	35	30	0318000	市民会館複合施設整備等事業費 管理運営委託料 (債務負担行為解消分)	22,746,000	22,744,940	
6	01	10	35	30	0318500	市民会館複合施設維持管理運営等事業費 管理運営業務委託料 (債務負担行為解消分)	56,865,000	56,864,111	73,862,000
7	01	10	35	30	0319000	市民会館複合施設整備等事業費 施設購入費 (債務負担行為解消分)	60,005,000	60,004,990	
8	01	10	35	30	0319100	市民会館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
9	01	10	35	30	0319500	市民会館複合施設維持管理運営等事業費 施設整備費 (債務負担行為解消分)	172,385,000	172,717,777	23,699,000
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							317,346,000	318,928,906	99,284,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	府中の森芸術劇場管理運営事業				事務事業コード	30440200
概要	府中の森芸術劇場本館・分館の管理及び運営					
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課	
	施策	44	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業	
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	平成3年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	府中市立府中の森芸術劇場条例					
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当あり	交付金・補助金等の名称	社会資本整備総合交付金	
対象	府中の森芸術劇場本館・分館					
事業目標	当該施設を安心・安全かつ快適に利用していただく。 稼働率を増加させることにより、より多くの市民に文化・芸術に関心を持っていただく。					
事業内容	(公財)府中文化振興財団が指定管理者となり、3つのホール等を有する府中の森芸術劇場本館及び4つの音楽練習室を有する府中の森芸術劇場分館について適正かつ計画的な維持管理・運営を行い、次の業務について指定管理者が行う。一方で、経年劣化による大規模改修等の施設整備については市が行う。 ①使用許可に関する業務②使用に係る利用料金の徴収に関する業務③維持管理および運営に関する業務④物品販売の許可に関する業務					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① 府中の森芸術劇場本館の保守点検の実施項目数	51	計画値	51	51	40	51	1 2 3 4 5 6 7 8							
	件	実績	52	-	-	-	☑	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	業務計画書に基づき、計画的に実施した。なお、R4年度計画時に予定していなかったテレポーズ保守、貯湯槽陽極棒交換を実施し、予定していたチェンバロ保守を実施しなかったため、52件(2増1減)となった。													
② 経年劣化による大規模改修等の施設整備計画の進捗率	30	計画値	40	60	100	100	1 2 3 4 5 6 7 8							
	%	実績	40	-	-	-	☑	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	実施設計委託業者及び建築施設課と連携し、遅延等なく予定通り業務を完了することができた。													

(※)要因の類型

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	407,352,000	472,827,000	1,604,786,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	599,000,000	0	0	0
その他	62,500,000	131,000,000	580,000,000	0	0	0
一般財源	344,852,000	341,827,000	425,786,000	0	0	0
予算現額	442,543,000	479,373,000	0	0	0	0
決算額	412,823,670	445,125,723	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,000,000	60,000,000	0	0	0	0
一般財源	411,823,670	385,125,723	0	0	0	0
執行率	93.3%	92.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.38	1.36				
職員人件費	18,646,841	10,885,674				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	524,799	276,425				
総コスト	431,995,310	456,287,822	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【本館】▼施設管理運営委託 ▼改修に伴う基本設計委託 ▼吸収冷温水機水室補修及び低温吸収液ポンプ交換修繕 ▼1階管理事務室空調修繕 ▼3ホールワイヤレスマイク装置更新修繕 ▼正面広場噴水の過機タンク交換修繕 ▼吸収冷温水機熱回収器補修修繕 ▼消火設備ポンプフート弁交換修繕 【分館】▼施設管理運営委託 ▼指定管理者候補者選定	【本館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施した。また、令和2年度に実施した改修内容等検討調査報告書をもとに、改修（施設・設備の老朽化対策及び建築基準法に基づく特定天井対策）に伴う基本設計委託を実施した。 【分館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施する。また、令和4年度からの第2期指定管理者候補者の選定を実施した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
【本館】▼施設管理運営委託 ▼改修に伴う実施設計委託 ▼2階管理事務室空調修繕 【分館】▼施設管理運営委託 ▼定期保守点検	【本館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施する。また、令和3年度に実施した改修（施設・設備の老朽化対策及び建築基準法に基づく特定天井対策）に伴う基本設計委託をもとに、実施設計委託を実施する。 【分館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【本館】▼施設管理運営委託 ▼改修に伴う実施設計委託 ▼2階管理事務室空調修繕 ▼吸収冷温水機補修修繕 【分館】▼施設管理運営委託 ▼定期保守点検	【本館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施した。また、令和3年度に作成した基本設計書をもとに、改修（施設・設備の老朽化対策及び建築基準法に基づく特定天井対策）に伴う実施設計委託を実施した。 【分館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
【本館】▼施設管理運営委託 ▼改修工事 ▼レストラン排水管更新修繕 【分館】▼施設管理運営委託 ▼定期保守点検	【本館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施する。また、令和4年度に実施した改修（施設・設備の老朽化対策及び建築基準法に基づく特定天井対策）に伴う実施設計委託をもとに、改修工事を実施する。 【分館】指定管理に係る基本協定書に基づき、適切な管理運営を実施する。

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載） 2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載） 3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載） C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	A 引き続き、当該施設を安心・安全かつ快適に利用していただく。 また、稼働率向上を目指し、より多くの市民に文化・芸術に関心を持っていただく。 施設・設備の老朽化対策及び建築基準法に基づく特定天井対策を行うため、改修工事を実施する。

(単位:円)

6 構成事業一覧

1	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	35	0319990	利用料金還付金補償料	0	6,076,900	
2	01	10	35	35	0320000	施設管理運営費 管理運営業務委託料 (債務負担行為解消分)	329,212,000	350,519,953	391,934,000
3	01	10	35	35	0320500	施設管理運営費 諸経費	3,470,000	6,952,110	3,070,000
4	01	10	35	35	0320900	負担金 ル・シーニュ管理組合	6,282,000	6,281,760	6,282,000
5	01	10	35	35	0323000	府中の森芸術劇場整備事業費 設計委託料	132,863,000	75,295,000	
6	01	10	35	35	0323100	府中の森芸術劇場整備事業費 監理委託料			49,760,000
7	01	10	35	35	0324010	府中の森芸術劇場整備事業費 ホール改修工事費			629,750,000
8	01	10	35	35	0324100	府中の森芸術劇場整備事業費 舞台設備改修工事費			522,990,000
9	01	10	35	35	0326000	府中の森芸術劇場整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							472,827,000	445,125,723	1,604,786,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	文化振興財団運営事業			事務事業コード	30440300
概要	府中の森芸術劇場及び郷土の森博物館の自主事業の実施				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	44	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	平成3年度～
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり				
根拠法令等	文化芸術基本法				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	公益財団法人府中文化振興財団				
事業目標	芸術・文化とコミュニティ活動の振興を図るとともに、地域文化に関わる博物館事業を推進し、あわせて市民の自主的な地域文化活動の育成とふるさと意識の高揚に努め、もって「うるおい」と「ふれあい」のある地域文化の振興に寄与する。				
事業内容	府中文化振興財団が実施する芸術・文化の振興に関する事業、コミュニティ活動の振興に関する事業、地域の歴史・文化・自然に関する博物館事業、市民の自主的な地域文化活動の奨励、援助に関する事業及び地域文化活動拠点の運営に関する事業等の補助をする。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	要因の種類(※)									
① 府中の森芸術劇場事業入場者・参加者数	115,905	計画値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	202,350	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う入場制限をし、また、中止・延期した事業が4事業あったため、入場者・参加者数が減少した。														
② 郷土の森博物館入場者数	276,650	計画値	290,000	303,500	318,500	333,500	333,500	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	350,447	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	コロナ禍において身近で安全な学び・行楽の場としての市民ニーズが高まった。植栽の計画的な整備等を通して更なる魅力の創出に努めるとともに、新企画を取り入れるなど創意工夫の取り組みを行った結果、想定以上に人気が高まり、指標値が上昇したと思われる。														

(※)要因の種類

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	238,772,000	238,747,000	232,476,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	238,772,000	238,747,000	232,476,000	0	0	0
予算現額	238,772,000	238,747,000	0	0	0	0
決算額	223,580,753	221,951,727	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	223,580,753	221,951,727	0	0	0	0
執行率	93.6%	93.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.17	0.45				
職員人件費	1,331,917	3,628,558				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	37,485	92,141				
総コスト	224,950,155	225,672,426	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 芸術・文化及びコミュニティ活動の振興に関する事業59事業 ○府中の森芸術劇場開館30周年記念事業 開館30周年を記念する事業9事業 ○郷土の森博物館 地域の歴史・文化・自然に関する博物館事業21事業 		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来場者の感染リスクを再優先に考慮し、やむを得ず一部事業を中止・縮小し、又は延期の措置を講じた事業もあったが、各種ガイドラインによる感染予防を行いながら、府中の森芸術劇場と郷土の森博物館を拠点にそれぞれの特性をいかしながら、各種事業を展開することができた。</p>



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 芸術・文化及びコミュニティ活動の振興に関する事業62～79事業 ○郷土の森博物館 地域の歴史・文化・自然に関する博物館事業21～22事業 	<p>市の文化芸術推進計画に基づき芸術文化の振興を図るため、芸術文化活動を通じた市民の交流の場・学びの場の提供や市民の自主的な文化活動の奨励等、各種事業を実施する。 郷土の森博物館は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、博物館の有する教育資源等を生かした魅力ある事業を計画的に実施する。</p>

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場 芸術・文化及びコミュニティ活動の振興に関する事業58事業 ○郷土の森博物館 地域の歴史・文化・自然に関する博物館事業22事業 		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う入場制限等が段階的に緩和されたことにより、各施設共に事業を再開し、にぎわいを取り戻すことができた。</p>



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場 芸術・文化及びコミュニティ活動の振興に関する事業64～81事業 ○郷土の森博物館 地域の歴史・文化・自然に関する博物館事業23～24事業 	<p>市の文化芸術推進計画に基づき芸術文化の振興を図るため、芸術文化活動を通じた市民の交流の場・学びの場の提供や市民の自主的な文化活動の奨励等、各種事業を実施する。 郷土の森博物館は、本館改修工事に伴い9月から本館を休館することから、復元建築物を活用した展示の充実、アウトリーチ活動の推進等を通じ、事業の充実を図る。</p>

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	令和6年度は府中の森芸術劇場が改修工事に伴い休館となることから、通常のホール公演に代わり、パルトホール、コンベンションホール飛鳥やフォーリス光と風の広場などを利用し、地域に密着した手づくりの公演を行い、文化の普及に努めるとともに、リニューアル後の劇場に市民が足を運ぶきっかけ作りを行う。また、市内小中学校を訪問して音楽ワークショップを行う「教育プログラム事業」、市内施設に出向いて出張コンサートを行う「出張事業」、市内施設が行う事業に協力・連携する「協力事業」の実施回数を増やすなど、アウトリーチ活動の強化を行う。
B 現状のまま継続		
<ol style="list-style-type: none"> 1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載) 		
C 見直して継続	1	
<ol style="list-style-type: none"> 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 		
D 休止・廃止等		

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	35	0321000	補助金 文化振興財団	165,180,000	152,943,378	162,055,000
2	01	50	30	10	1548600	補助金 文化振興財団	7,496,000	7,029,947	7,496,000
3	01	50	30	21	1581000	補助金 文化振興財団	66,071,000	61,978,402	62,925,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							238,747,000	221,951,727	232,476,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	郷土の森博物館管理運営事業			事務事業コード	30440400
概要	郷土の森博物館における管理・運営に係る事業				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	44	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	昭和62年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市郷土の森博物館条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	郷土の森博物館				
事業目標	ふるさと府中の貴重な歴史資料の収集・保管・活用及び調査研究等を行い、その成果を展示会等を通して市民や地域に還元することによって、郷土の歴史や自然・天文等に関する理解や関心を深め、もって市民の教育、学術、文化の発展に寄与することを目標とする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 博物館が有する教育資源等を生かした優れた企画や市民団体との連携等を通じ、展示、プラネタリウム、園内の回遊性の促進を図るとともに、博物館の魅力を市内外に積極的に発信し、年間入場者数の増を目指す。 小中学校への学習教材の提供や情報の発信等を通じ、学校教育との連携を深める。 施設の老朽化等に伴う改修については、可能な限り博物館機能の提供に影響を及ぼすことのないよう計画し、施設の適正な管理・運営に努める。 				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	要因の類型(※)									
① 郷土の森博物館入場者数	276,650	計画値	290,000	303,500	318,500	333,500	333,500	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	350,447	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	園内の植栽を生かした催しが好調で、あじさいまつりは、過去最高の入場者数を記録。プラネタリウムの番組も好評で、観覧者数は予想を上回った。水遊びの池の再開もプラス要因。展示会、プラネタリウム、園内の各事業に対する地道な取り組みが功を奏したともいえる。														
	計画値						要因の類型(※)								
	実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	793,231,000	302,946,000	1,379,078,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	105,000,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	812,000,000	0	0	0
その他	354,000,000	4,000,000	235,000,000	0	0	0
一般財源	334,231,000	298,946,000	332,078,000	0	0	0
予算現額	767,988,000	302,946,000	0	0	0	0
決算額	756,133,524	298,150,104	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	156,856,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	169,000,000	28,000,000	0	0	0	0
一般財源	430,277,524	270,150,104	0	0	0	0
執行率	98.5%	98.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.25	1.25				
職員人件費	9,793,509	9,999,151				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	271,526	60,284				
総コスト	766,198,559	308,209,539	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の管理運営及び維持管理 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営 展示会や講座等の開催 「梅まつり」等の園内を活用した事業の実施 など (新規事業) 本館劣化部位改修に伴う実施設計、本館常設展示室等天井改修工事(前年度から継続)、園内復元建築物及び園内全体の維持管理方針の作成など	天井改修工事に伴う展示室の休室やプラネタリウムの休映に加え、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休館などが生じ、計画どおり事業は実施できなかったが、復元建築物などを活用した展示会の開催、「梅まつり」夜間ライトアップなど、できる限りの事業を実施し、博物館が有する機能を地域に提供した。開館から30年以上が経過し、設備などの老朽化が進行していることから、本館改修に伴う実施設計、天井改修工事(前年度から継続)、また園内復元建築物及び園内全体の維持管理方針の作成などを実施した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の管理運営及び維持管理 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営 展示会や講座等の開催 「梅まつり」等の園内を活用した事業の実施 など (新規事業) 復元建築物旧河内家住宅旧越智家住宅自動放水銃等消火設備更新修繕、井水ポンプ交換修繕 など	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業を計画的に実施する。令和3年度末に常設展示室等天井改修工事が完了し、令和4年度は本館各展示室及びプラネタリウムは通常運営に戻ることから、特別展・企画展事業の再開、学校教育への協力推進、天文事業の拡充、園内の魅力を生かした事業展開などを通して、各事業の充実を目指す。施設の維持管理については、園内の自動放水銃等消火設備更新や井水ポンプの修繕などを実施し、今後も計画的に進めていく。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の管理運営及び維持管理 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営 展示会や講座等の開催 「梅まつり」等の園内を活用した事業の実施 など (新規事業) 復元建築物旧河内家住宅旧越智家住宅自動放水銃等消火設備更新修繕、井水ポンプ交換修繕 など	新型コロナウイルス感染防止のため、一部事業の中止や定員の縮小等の影響はあったが、感染防止対策を講じながら、ほぼ計画通り事業を実施できた。「武蔵府中鉄道模型博2022」の3年ぶりの開催、市民ニーズに寄り添った「ベビープラネタリウム」の新規開催、将来を見据えた園内植栽の計画的な整備、フェイスブックとインスタグラムの新規導入など、多くの事業においてチャレンジや創意工夫が見られた。開館から30年以上が経過し、設備などの老朽化に対しては、復元建築物旧河内家住宅旧越智家住宅自動放水銃等消火設備更新修繕、井水ポンプ交換修繕などを実施した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の管理運営及び維持管理 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営 展示会や講座等の開催 「梅まつり」等の園内を活用した事業の実施 など (新規事業) 曼殊沙華まつり(仮称)、本館改修工事(令和6年度まで) など	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策に注意を払いながら、事業を計画的に実施する。また、本館改修工事のため、令和5年9月から令和6年7月まで本館(プラネタリウムを含む)の休館を予定していることから、復元建築物を活用した展示やアウトリーチ活動の充実、学校教育への協力の推進、曼殊沙華まつり(仮称)の新規開催等の取り組みを通じ、本館休館による影響を最小限に抑えるとともに、博物館の有する豊富な資源を活用し、市民ニーズを生かした魅力ある事業を計画的に提供していく。

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性																						
<table border="1"> <tr> <td>A 重点化・拡大して継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">B</td> <td rowspan="4">博物館は、本市の歴史・文化の拠点となる教育施設であり、貴重な歴史資料の保全を担う重要な施設であることから、維持管理を計画的に実施していく必要がある。また、地域に根ざした博物館として親しまれるよう、市民のニーズに合わせた多彩な事業を展開し、来館者の増加を図っていく。</td> </tr> <tr> <td>B 現状のまま継続</td> </tr> <tr> <td>1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> <tr> <td>2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">1</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>C 見直して継続</td> <td>1 見直し・縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 他事業との整理・統合</td> </tr> <tr> <td>D 休止・廃止等</td> <td></td> <td>1 休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2 廃止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3 完了</td> </tr> </table>	A 重点化・拡大して継続	B	博物館は、本市の歴史・文化の拠点となる教育施設であり、貴重な歴史資料の保全を担う重要な施設であることから、維持管理を計画的に実施していく必要がある。また、地域に根ざした博物館として親しまれるよう、市民のニーズに合わせた多彩な事業を展開し、来館者の増加を図っていく。	B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)	2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	1		C 見直して継続	1 見直し・縮小		2 他事業との整理・統合	D 休止・廃止等		1 休止			2 廃止			3 完了	
A 重点化・拡大して継続	B			博物館は、本市の歴史・文化の拠点となる教育施設であり、貴重な歴史資料の保全を担う重要な施設であることから、維持管理を計画的に実施していく必要がある。また、地域に根ざした博物館として親しまれるよう、市民のニーズに合わせた多彩な事業を展開し、来館者の増加を図っていく。																			
B 現状のまま継続																							
1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)																							
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)																							
3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	1																						
C 見直して継続			1 見直し・縮小																				
			2 他事業との整理・統合																				
D 休止・廃止等		1 休止																					
		2 廃止																					
		3 完了																					

(単位:円)

6 構成事業一覧

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	21	1579000	施設管理運営費 管理運営業務委託料 (債務負担行為解消分)	256,081,000	255,052,610	287,363,000
2	01	50	30	21	1580000	施設管理運営費 事業委託料	5,654,000	5,654,000	5,654,000
3	01	50	30	21	1580500	施設管理運営費 諸経費	9,311,000	8,953,494	301,000
4	01	50	30	21	1588400	郷土の森博物館整備事業費 監理委託料 (債務負担行為解消分)			55,780,000
5	01	50	30	21	1588800	郷土の森博物館整備事業費 本館改修工事費 (債務負担行為解消分)			1,028,980,000
6	01	50	30	21	1590600	郷土の森博物館整備事業費 園内設備改修工事費	30,900,000	28,490,000	
7	01	50	30	21	1591000	郷土の森博物館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							302,946,000	298,150,104	1,379,078,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館維持管理事業				事務事業コード	30440500
概要	府中市美術館の管理及び運営					
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 美術館	
	施策	44	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない
根拠法令等	府中市美術館条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	美術館					
事業目標	来館者の安全・快適な鑑賞空間を保持し、美術品の保存管理の安定的安全性を維持する。					
事業内容	施設の適正かつ計画的な維持管理運営に努める。 美術館の設置目的と基本テーマ「生活と美術」に基づいた収集保存、企画展示、常設展示、教育普及事業とともに、市民ギャラリー、美術図書室等の充実を図る。 学識経験者や団体代表者、公募市民等の12名で構成する美術館運営協議会において、美術館のあり方等、美術館の今後の方向性を審議しており、当該協議会からの答申を基に、美術館の運営を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	要因の類型(※)									
① 入館者数	302,525	計画値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	225,722	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	感染症対策の緩和														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	164,023,000	190,392,000	179,447,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	9,376,000	35,376,000	4,228,000	0	0	0
一般財源	154,647,000	155,016,000	175,219,000	0	0	0
予算現額	164,897,000	209,701,000	0	0	0	0
決算額	158,700,942	199,288,444	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	7,544,164	48,855,411	0	0	0	0
一般財源	151,156,778	150,433,033	0	0	0	0
執行率	96.2%	95.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	4.00	3.00				
職員人件費	31,339,228	23,997,963				
月額制会計年度任用職員数	0	0.2				
月額制会計年度任用職員人件費	0	643,623				
(間接経費)						
間接経費	2,711,333	2,259,778				
総コスト	192,751,503	226,189,808	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
来館者の安全・快適な鑑賞空間を保持し、美術品の保存管理の安定的安全性を維持した。	適正な予算執行に努め、一定の成果を上げた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
府中市美術館改修内容調査検討委託業務を実施した。	平成9年度に計画している大規模改修に備え、府中市美術館改修内容調査検討委託業務の中で浮上した課題を整理する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
平成9年度に計画している大規模改修に備え、府中市美術館改修内容調査検討委託業務の中で浮上した課題を整理できた。	適正な予算執行に努め、一定の成果を上げた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
取蔵庫内の燻蒸を実施し、所蔵品の保全・環境整備を推進する。令和9年度に計画している大規模改修を見据え、建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当との調整や協議を進める。	平成9年度に計画している大規模改修を見据え、建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当との調整や協議をすすめながら課題を整理する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	A	令和9年度に計画している大規模改修を見据え、建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当との調整や協議を進める。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続		
	1 見直し・縮小	
	2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等		
	1 休止	
	2 廃止	
	3 完了	

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	05	1505500	美術館長活動費	2,016,000	2,016,000	2,016,000
2	01	50	30	30	1607300	美術館運営協議会運営費	348,000	231,000	304,000
3	01	50	30	30	1614000	施設管理費 管理委託料	98,070,000	91,425,845	96,407,000
4	01	50	30	30	1615000	施設管理費 光熱水費及び燃料費	31,318,000	53,295,933	49,323,000
5	01	50	30	30	1616000	施設管理費 諸経費	21,440,000	21,020,266	30,397,000
6	01	50	30	30	1625100	美術館整備事業費 調査委託料	14,200,000	10,010,000	
7	01	50	30	30	1625500	美術館整備事業費 空気調和設備改修工事費	16,800,000	16,394,400	
8	01	50	30	30	1626000	美術館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
9	01	50	30	30	1626500	美術館整備事業費 電気設備改修工事費	5,200,000	4,895,000	
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							190,392,000	199,288,444	179,447,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館展覧会運営事業				事務事業コード	30440600
概要	企画展の開催					
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 美術館
	施策	44	文化施設の有効活用		事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	平成12年度～	
見直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない					
根拠法令等	府中市美術館条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	企画展観覧者					
事業目標	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会える場所と機会を提供する。					
事業内容	優れた作品との出会いにより美術文化に対する深い理解と親しみをもち、より豊かな美意識を育める場となるように、企画展を催す。子どもの鑑賞活動を深めて、豊かな情操を養える企画展を開催する。本美術館の主催又は共催により、国内外の優れた美術作品を紹介する企画展を開催する。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① 企画展観覧者数	80,664	計画値	82,000	82,000	82,000	82,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	70,130	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	感染症対策の緩和。企画展の広報活動の奏功													
		計画値					要因の類型(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	137,984,000	84,665,000	84,136,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	38,660,000	22,530,000	20,000,000	0	0	0
一般財源	99,324,000	62,135,000	64,136,000	0	0	0
予算現額	137,632,000	84,665,000	0	0	0	0
決算額	132,257,411	81,076,892	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	33,239,000	32,000,000	0	0	0	0
一般財源	99,018,411	49,076,892	0	0	0	0
執行率	96.1%	95.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	4.10	4.10				
職員人件費	32,122,709	32,797,216				
月額制会計年度任用職員数	0	0.1				
月額制会計年度任用職員人件費	0	321,812				
(間接経費)						
間接経費	2,779,118	2,965,960				
総コスト	167,159,238	117,161,880	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会える場所と機会を提供できた。	適正な予算執行に努め、一定の成果を上げた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
アート・アンド・クラフツ展をはじめ、5つの魅力ある展覧会が実施した。	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会える場所と機会を提供する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
アート・アンド・クラフツ展をはじめ、5つの魅力ある展覧会が実施した。	適正な予算執行に努め、一定の成果を上げた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
「インド細密画」展や「江戸絵画まつり展」をはじめ、5つの魅力ある展覧会を計画する。	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会える場所と機会を提供する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会える場所と機会を継続して提供する。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合	1	
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止	1	
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	30	1607900	展覧会事業費 (債務負担行為解消分)	3,300,000	2,908,950	5,060,000
2	01	50	30	30	1608000	展覧会事業費	67,065,000	63,867,942	68,076,000
3	01	50	30	30	1623190	負担金 アーツ&クラフツ展	14,300,000	14,300,000	
4	01	50	30	30	1623200	負担金 インド細密画展			11,000,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							84,665,000	81,076,892	84,136,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館常設展等運営事業				事務事業コード	30440700
概要	所蔵品展及び常設展の開催					
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 美術館	
	施策	44	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない
根拠法令等	府中市美術館条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	所蔵品展及び常設展観覧者					
事業目標	所蔵品の維持管理及び所蔵品展の開催。教育普及事業の開催。					
事業内容	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会う場所と機会を提供する。様々な教育普及事業を開催して、創作、鑑賞、学習など市民の様々なニーズに答える。美術図書室を充実させ、画集、美術書を市民が安らぎを持って楽しめる空間を提供する。美術品を購入する際や美術品の寄附の申出があった際には、有識者6名により構成する府中市美術品収集選定委員会において、その購入や寄附の受入を審議している					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① 所蔵品・常設展観覧者数	114,220	計画値	106,000	106,000	106,000	106,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	79,445	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	感染症対策の緩和													
② 教育普及事業参加者数	92,213	計画値	96,000	96,000	96,000	96,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	47,638	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	感染症対策の緩和													

(※) 要因の類型

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	60,311,000	56,884,000	83,169,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	37,995,000	36,367,000	51,017,000	0	0	0
一般財源	22,316,000	20,517,000	32,152,000	0	0	0
予算現額	59,836,000	56,854,000	0	0	0	0
決算額	56,905,227	52,890,188	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	2,970,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	36,945,869	32,362,696	0	0	0	0
一般財源	19,959,358	17,557,492	0	0	0	0
執行率	95.1%	93.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.90	3.90				
職員人件費	30,555,747	31,197,352				
月額制会計年度任用職員数	0	0.1				
月額制会計年度任用職員人件費	0	321,812				
(間接経費)						
間接経費	2,643,550	2,824,723				
総コスト	90,104,524	87,234,075	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
所蔵品の維持管理及び所蔵品展の開催するとともに、教育普及事業を実施した。	適正な予算執行に努め、一定の成果を上げた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
収蔵庫内の高性能フィルター交換など所蔵品の維持管理に努め、「美術のたね」展を開催した、合わせて公開制作や、小・中学校の美術鑑賞教室教育普及事業を実施した。	所蔵品の維持管理及に努めるとともに、魅力ある所蔵品展の開催や、公開制作をはじめとする教育普及事業を計画する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
収蔵庫内の高性能フィルター交換など所蔵品の維持管理に努め、「美術のたね」展を開催した、合わせて公開制作や、小・中学校の美術鑑賞教室教育普及事業を実施した。	適正な予算執行に努め、一定の成果を上げた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
収蔵庫内の高性能フィルター交換など所蔵品の維持管理に努め、「美術のたね」展を開催した、合わせて公開制作や、小・中学校の美術鑑賞教室教育普及事業を計画する	所蔵品の維持管理及に努めるとともに、魅力ある所蔵品展の開催や、公開制作をはじめとする教育普及事業を計画する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性	
A 重点化・拡大して継続		B	
B 現状のまま継続			
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)			
C 見直して継続		1	
	1 見直し・縮小		
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等			
	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

R 4年度	R 5年度	R 4年度		R 5年度	事業 コード	予 算 事 業 名	目 的 項 目	項 目	款 項	会 計			
		当初予算額	決算額								当初予算額		
1	01	50	30	30	1607500	美術品収集選定委員会運営費					210,000	183,212	205,000
2	01	50	30	30	1609000	美術普及事業費					9,534,000	7,368,557	9,419,000
3	01	50	30	30	1610000	所蔵品展示管理費					20,576,000	18,786,134	24,486,000
4	01	50	30	30	1612000	美術品購入費					25,300,000	25,300,000	47,795,000
5	01	50	30	30	1613000	図書資料等購入費					994,000	982,285	994,000
6	01	50	30	30	1617000	負担金 全国美術館会議					30,000	30,000	30,000
7	01	50	30	30	1618000	負担金 日本博物館協会					40,000	40,000	40,000
8	01	50	30	30	1619000	負担金 東京の美術館・博物館等共通入館事業費					200,000	200,000	200,000
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
合 計							56,884,000	52,890,188	83,169,000				

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	歴史文化財保存活用事業			事務事業コード	30450100
概要	市内文化財の保存及び活用				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	45	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和31年度～
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり				
根拠法令等	文化財保護法・東京都文化財保護条例・府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	府中市内の文化財				
事業目標	貴重な文化遺産を後世へと伝えていくために、適切に保存・整備・活用し、調査・研究の成果に基づいて様々な形で広く紹介し、「歴史と伝統あるまち府中」への郷土愛を高めていく。				
事業内容	国史跡武蔵国府跡（国衙地区・国司館地区）、馬場大門のケヤキ並木、国史跡武蔵府中熊野神社古墳など、他市には無い全国的にも優れた歴史文化遺産を将来にわたり保存し、また新たな文化財についても、指定や整備等を実施するとともに、広く活用するため、専門家や市民等とともに積極的に調査・研究に取り組んでいく。また、これらの歴史文化遺産を展示公開や情報発信することにより広く活用していく。また、市内の歴史・文化を研究する市民団体である史談会に対し、運営費の一部を補助することで、郷土の歴史的な研究を通して、地域文化の向上に資することを目的に活動を支援する。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)									
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)									
① ふるさと府中歴史館等における展示公開観覧者数	50,245	計画値	247,000	247,500	248,000	248,500	248,500	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人	実績	288,168	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	ふるさと府中歴史館に、マイナンバーの交付窓口及びマイナポイントの相談窓口の設置したこと。また、新型コロナウイルス感染症と経済活動の両立に向け、行動制限の緩和が図られたことによるものと考えている。															
		計画値						要因の類型(※)								
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																

(※) 要因の類型

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	28,835,000	28,577,000	42,977,000	0	0	0
国庫支出金	2,250,000	1,300,000	0	0	0	0
都支出金	0	20,000	2,690,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	11,300,000	9,000,000	21,600,000	0	0	0
一般財源	15,285,000	18,257,000	18,687,000	0	0	0
予算現額	28,824,000	28,572,000	0	0	0	0
決算額	25,329,939	26,711,615	0	0	0	0
国庫支出金	1,000,000	1,300,000	0	0	0	0
都支出金	0	20,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	11,000,000	8,000,000	0	0	0	0
一般財源	13,329,939	17,391,615	0	0	0	0
執行率	87.9%	93.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.45	3.05				
職員人件費	19,195,277	24,397,929				
月額制会計年度任用職員数	0	1				
月額制会計年度任用職員人件費	0	3,218,116				
(間接経費)						
間接経費	58,351	195,321				
総コスト	44,583,567	54,522,981	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼文化財の維持管理 ▼古民家活用の市場調査実施と保存活用計画（指針）策定 ▼文化財保護審議会より「内藤家住宅の府中市文化財指定」について答申がなされ、当住宅を市有形文化財（建造物）に指定した。 ▼史談会の運営費への一部補助 	<ul style="list-style-type: none"> ▼文化財の適切な維持管理により保存活用が図られた。 ▼古民家の歴史的価値が評価され、文化財保存が図られた。 ▼史談会の運営を支援し、歴史文化の研究と普及が図られた。 	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼文化財の維持管理 ▼内藤家住宅の保存活用事業に伴う耐震予備診断等の基礎調査 ▼文化財保護審議会の運営 ▼多摩郷土誌フェアへの出店 ▼史談会の運営費への一部補助 	<ul style="list-style-type: none"> ▼継続して文化財を適切に維持管理する。 ▼内藤家住宅の保存活用に係る耐震予備診断を進める。 ▼文化財保護審議会では、文化財指定候補を調査し、新文化財の指定に向け審議を進める。 ▼多摩郷土誌フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布し、P Rを図っていく。 ▼史談会の運営を支援し、歴史文化のさらなる研究と普及を図る。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼文化財の維持管理 ▼内藤家住宅の保存活用事業に伴う耐震予備診断等の基礎調査 ▼文化財保護審議会の運営（「武蔵府中郷土かるた」の府中市文化財指定について検討） ▼多摩郷土誌フェアへの出展 ▼史談会の運営費への一部補助 	<ul style="list-style-type: none"> ▼文化財の適切な維持管理により保存活用が図られた。 ▼内藤家住宅の保存活用にに向けた基礎調査が進展し、東京都有形文化財（建造物）の指定を受けることができた。 ▼「武蔵府中郷土かるた」の府中市文化財指定に向けた基礎情報の収集・調査を進めた。 ▼多摩郷土誌フェアに出展し、刊行物の周知に努めた。 ▼史談会の運営を支援し、歴史文化の研究と普及が図られた。 	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼文化財の維持管理 ▼内藤家住宅の保存活用事業に向けた実測・図化 ▼文化財保護審議会の運営 ▼多摩郷土誌フェアへの出展 ▼史談会の運営費への一部補助 	<ul style="list-style-type: none"> ▼継続して文化財を適切に維持管理する。 ▼内藤家住宅の保存活用にに向けた実測・図化を進める。 ▼文化財保護審議会では、「武蔵府中郷土かるた」の府中市文化財指定に係る答申をするとともに、文化財指定候補を調査し、新文化財の指定に向け審議を進める。 ▼多摩郷土誌フェアに出展し、市が発行した様々な資料を一般に頒布し、P Rを図っていく。 ▼史談会の運営を支援し、歴史文化のさらなる研究と普及を図る。

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性																								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">A 重点化・拡大して継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">A</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;"> ・ハードの整備に加え、ソフト面での文化財の活用をいかに図っていくかが大きな課題であるとともに、市内の貴重な文化財のより一層の保存が必要となっている。 ・文化財保護審議会委員とも連携し、市内の貴重な文化財の指定を含めた保存と活用を図っていく必要がある。 </td> </tr> <tr> <td>B 現状のまま継続</td> </tr> <tr> <td>1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）</td> </tr> <tr> <td>2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）</td> </tr> <tr> <td>3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 見直して継続</td> <td>1 見直し・縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 他事業との整理・統合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 休止・廃止等</td> <td>1 休止</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 廃止</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 完了</td> <td></td> </tr> </table>	A 重点化・拡大して継続	A	・ハードの整備に加え、ソフト面での文化財の活用をいかに図っていくかが大きな課題であるとともに、市内の貴重な文化財のより一層の保存が必要となっている。 ・文化財保護審議会委員とも連携し、市内の貴重な文化財の指定を含めた保存と活用を図っていく必要がある。	B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）	3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）			C 見直して継続	1 見直し・縮小			2 他事業との整理・統合		D 休止・廃止等	1 休止			2 廃止			3 完了		
A 重点化・拡大して継続	A			・ハードの整備に加え、ソフト面での文化財の活用をいかに図っていくかが大きな課題であるとともに、市内の貴重な文化財のより一層の保存が必要となっている。 ・文化財保護審議会委員とも連携し、市内の貴重な文化財の指定を含めた保存と活用を図っていく必要がある。																					
B 現状のまま継続																									
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）																									
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）																									
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）																									
C 見直して継続	1 見直し・縮小																								
	2 他事業との整理・統合																								
D 休止・廃止等	1 休止																								
	2 廃止																								
	3 完了																								

6 構成事業一覧

(単位:円)

R	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1521500	文化財保護審議会運営費	1,334,000	1,320,934	1,334,000
2	01	50	30	10	1523000	文化財保護振興費	15,580,000	14,886,986	31,499,000
3	01	50	30	10	1524500	歴史的公文書保存活用事業費	4,228,000	4,182,341	4,184,000
4	01	50	30	10	1529000	武蔵国府等展示活用事業費	7,241,000	6,147,354	5,766,000
5	01	50	30	10	1543000	負担金 東京都市多摩郷土誌フェア	15,000	15,000	15,000
6	01	50	30	10	1545000	負担金 全国史跡整備市町村協議会	70,000	50,000	70,000
7	01	50	30	10	1546000	負担金 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	45,000	45,000	45,000
8	01	50	30	10	1548000	補助金 史談会活動事業費	64,000	64,000	64,000
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							28,577,000	26,711,615	42,977,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	埋蔵文化財保存活用事業			事務事業コード	30450200
概要	埋蔵文化財（遺跡）の保護と活用				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	45	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和5年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法・東京都文化財保護条例・府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	市内埋蔵文化財				
事業目標	府中市の歴史と文化に根差した歴史的遺産であり、府中市の歴史・文化環境を形作る重要な要素である埋蔵文化財を、保存・活用する。また、市民その他事業者に対し、埋蔵文化財保護の趣旨を十分説明し、その理解と協力を得る。				
事業内容	開発事業に先立つ埋蔵文化財存否の調査の実施（立会調査・試掘確認調査） 府中市教育委員会による本発掘調査の実施 事業者実施の本発掘調査の指導				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	79,470,000	120,457,000	121,517,000	0	0	0
国庫支出金	24,192,000	44,182,000	42,964,000	0	0	0
都支出金	12,116,000	22,091,000	21,482,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	2,200,000	0	0	0
一般財源	43,162,000	54,184,000	54,871,000	0	0	0
予算現額	99,151,000	120,037,000	0	0	0	0
決算額	98,355,945	103,590,046	0	0	0	0
国庫支出金	16,750,000	26,016,000	0	0	0	0
都支出金	8,395,000	13,008,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	73,210,945	64,566,046	0	0	0	0
執行率	99.2%	86.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.90	3.90				
職員人件費	30,555,747	31,197,352				
月額制会計年度任用職員数	2	3				
月額制会計年度任用職員人件費	6,497,384	9,654,348				
(間接経費)						
間接経費	130,123	332,769				
総コスト	135,539,199	144,774,515	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼埋蔵文化財発掘調査 12件(1,728.73㎡) ▼埋蔵文化財試掘調査 110件(2,886.2㎡) ▼報告書作成業務 ▼埋蔵文化財情報データベース更新	埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に対しては、法律に基づく届出等が義務付けられている。そのことを周知し、適切に対応していただけるよう、進めることができた。 また、遅滞なく開発行為に着手していただくため、過去のデータを蓄積し、窓口での適切な対応、その後の各種調査の速やかな着手、実施に努めることができた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
発掘届の内容に基づき、適切に試掘調査及び本発掘調査を実施する。調査後は、速やかに整理作業を実施し、確実に発掘調査報告書を刊行するなど、市民への還元を務める。	埋蔵文化財包蔵地内の土木等工事に際しては、文化財保護法第93条に基づく届出が義務付けられている。その旨を正しく理解し、適切に対応していただけるよう、市民、市内事業者に対して、広く周知していく。 また、遅滞なく開発行為に着手していただけるよう、過去のデータを整理・蓄積し、窓口での適切な対応、その後の各種調査の速やかな実施に努めていく。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼埋蔵文化財発掘調査・・・22件(16,386.12㎡) ▼埋蔵文化財試掘調査・・・96件(4,116.81㎡) ▼報告書作成業務・・・1冊	埋蔵文化財包蔵地内での各種開発行為に対しては、法律に基づく届出義務が課されている。保護法の趣旨と共に周知した結果、適切に進めることができた。 また、遅滞なく開発行為に着手していただくため、過去のデータを蓄積し、窓口での適切な対応、その後の各種調査や調査に着手することができた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
発掘届の内容に基づき、適切に埋蔵文化財の保護(立会調査、試掘調査及び本発掘調査)を実施する。調査後は、速やかに整理作業を実施し、確実に発掘調査報告書を刊行するなど、市民への還元を務める。	埋蔵文化財包蔵地内の土木等工事に際しては、文化財保護法第93条に基づく届出が義務付けられている。保護法の趣旨を正しく理解し、適切に対応していただけるよう、市民、市内事業者に対して、広く周知していく。 また、遅滞なく開発行為に着手していただけるよう、過去のデータを整理・蓄積し、窓口での適切な対応、その後の各種調査の速やかな実施・調整に努めていく。

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	B 埋蔵文化財の保護は、文化財保護法に定められた必須事項である。当該事業は法律で提出義務が課された発掘届に対応するものであり、今後も継続して実施していく必要がある。また、発掘調査は、本市の歴史解明に欠かすことができない手段であり、引き続き実施する必要がある。
C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	1

6 構成事業一覧

(単位:円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1524000	埋蔵文化財発掘調査費	118,484,000	102,365,759	115,845,000
2	01	50	30	10	1540000	埋蔵文化財整理事務所管理費 管理委託料	535,000	511,308	1,675,000
3	01	50	30	10	1541000	埋蔵文化財整理事務所管理費 光熱水費及び燃料費	897,000	579,360	685,000
4	01	50	30	10	1542000	埋蔵文化財整理事務所管理費 諸経費	541,000	133,619	530,000
5	01	50	30	10	1549500	補助金 文化財保存事業費			2,782,000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							120,457,000	103,590,046	121,517,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	武蔵国府跡保存活用事業			事務事業コード	30450300
概要	国史跡武蔵国府跡の保存・活用				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	45	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	昭和5年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	国史跡武蔵国府跡（国衙地区・国司館地区）				
事業目標	国史跡武蔵国府跡を将来に亘って適切に保存し、広く活用を図っていく。				
事業内容	大國魂神社の東に武蔵国の国衙が、また、府中本町駅に隣接する地域には、国司館が建っていたことが調査によりわかった。これらを適切に保存・活用するため、国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討協議会を立ち上げ、学識経験者・関係団体代表・市民代表らの意見を取り入れながら、国史跡武蔵国府跡保存管理計画を策定した。今後、本史跡を将来に亘って保存し、確実に次世代へと継承していくため、史跡の保存を基本としながらも、JR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間との両立をめざし、第二期整備の検討を進めていく。また、にぎわいと魅力ある空間の創出にあたり、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信し、たくさんの方に利用していただけるよう活用を図っていく。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
① 国司跡武蔵国府跡（国司館地区）第二期整備の進捗率	5	計画値	10	20	25	40	40	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	10	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	第2期整備の目的であるにぎわいと魅力ある空間の創出にあたり、たくさんの方に利用していただける活用事業の一環として、民間活力を使った単発イベントによる実証実験イベント、また当課以外での広く民間利用にも供することができた。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	7,299,000	11,789,000	24,072,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	1,600,000	3,200,000	0	0	0
一般財源	7,299,000	10,189,000	20,872,000	0	0	0
予算現額	7,291,000	11,789,000	0	0	0	0
決算額	6,570,232	8,793,496	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	1,000,000	0	0	0	0
一般財源	6,570,232	7,793,496	0	0	0	0
執行率	90.1%	74.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.20	1.20				
職員人件費	9,401,768	9,599,185				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	26,466	57,872				
総コスト	15,998,466	18,450,553	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
実証実験イベントを1回開催し、195人の来場者があった。来場者に配布したアンケートにより、市民が望む今後のイベントの在り方や国司館地区第2期整備基本計画を推進するに当たっての方向性のある程度把握することができた。	市民が望む今後のイベントの在り方や国司館地区第2期整備基本計画を推進するに当たっての方向性のある程度把握することができた。今後は、さらに拡大して実施していきたい	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
実証実験イベントを2回開催予定。暑さ対策と日常利用を踏まえ、6月からパラソル付きのイス、テーブルを設置する。設置状況に伴う、市民の意見、感想を確認し、今後に反映をさせていく。	日常利用の促進とともに、継続的にぎわいを創出するための実証実験として、園内において実証実験イベントを実施し、活用の検証を行った上で、第2期整備を進める。また、ガイダンス兼にぎわい施設建設に向けた基本計画策定を進めるなかで、具体的な活用の方策を実施・検証していく。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
第2期整備の目的であるにぎわいと魅力ある空間の創出にあたり、たくさんの方に利用していただける活用事業の一環として、民間活力を使い、単発イベントによる実証実験イベントを2回、また当課以外の民間利用にも供し、5,128人の来場者があった。また、年間を通じた日常利用を図るため、椅子・テーブル、テントなどを設置し、日常利用の促進を進めた。	第2期整備の目的であるにぎわいと魅力ある空間の創出にあたり、たくさんの方に利用していただける活用事業の一環としてイベントを実施することにより、たくさんの方が、当広場に来ていただけたことが分かった。さらに、日常利用も促進できた成果も含めて、史跡の保存を基本としながらも、市内外から多くの方に来場いただき、にぎわいと魅力ある空間づくりを目指す第2期整備の取組を行うことができた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
中長期的なイベントの開催。団体利用の検討。暑さ対策と日常利用を踏まえ、イスや机等の継続と、日よけの設置を行う。	単発で行っていたイベントではなく、中長期的な期間で活用することによる試行的な取組や、色々な団体に利用していただき、団体が利用し易い条件等を把握し、第2期整備に繋げていく。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	B	実証実験イベントや当課以外の団体の利用をとおして、当施設のにぎわい創出につなげていきたい。また、それらの検証をふまえ、必要な機能を第2期整備につなげていく。
C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	1	

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1519800	武蔵国府跡保存整備活用検討会議運営費	494,000	2,876	494,000
2	01	50	30	10	1529600	武蔵国府跡(国司館地区)管理運営費 業務運営委託料	3,879,000	3,773,396	4,016,000
3	01	50	30	10	1529610	武蔵国府跡(国司館地区)管理運営費 管理委託料	1,759,000	1,355,878	1,673,000
4	01	50	30	10	1529620	武蔵国府跡(国司館地区)管理運営費 光熱水費	318,000	376,180	380,000
5	01	50	30	10	1529630	武蔵国府跡(国司館地区)管理運営費 諸経費	4,291,000	2,237,166	5,201,000
6	01	50	30	10	1529635	武蔵国府跡(国司館地区)管理運営費 諸経費(債務負担行為解消分)	1,048,000	1,048,000	
7	01	50	30	10	1554740	武蔵国府跡(国司館地区)整備事業費 屋外日よけ設置費			12,308,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							11,789,000	8,793,496	24,072,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	ふるさと府中歴史館管理運営事業			事務事業コード	30450400
概要	ふるさと府中歴史館の管理・運営				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	45	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	平成23年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市立ふるさと府中歴史館条例、文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財保護条例、府中市文化財及び保存に関する条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	ふるさと府中歴史館来館者				
事業目標	武蔵国府に関する情報発信等の施設として、歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行い、市内外の多くの方に観ていただき理解をいただく				
事業内容	1,3年前に武蔵国府の中枢施設である国衙が置かれた場所にあることを踏まえ、武蔵国府に関する情報発信等の施設として、歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行う。 また、古代国府を中心とした市の歴史や文化について、市民に発信し、関心を寄せられるよう、特別展などを開催する。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
① ふるさと府中歴史館入館者数	86,284	計画値	88,500	91,000	93,500	96,000	96,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	161,020	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	マイナンバーの交付窓口の設置、マイナポイントの相談窓口の設置。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	26,909,000	23,160,000	22,180,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	26,909,000	23,160,000	22,180,000	0	0	0
予算現額	26,909,000	26,677,000	0	0	0	0
決算額	24,302,189	23,981,221	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	24,302,189	23,981,221	0	0	0	0
執行率	90.3%	89.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.40	1.60				
職員人件費	10,968,730	12,798,914				
月額制会計年度任用職員数	0	1				
月額制会計年度任用職員人件費	0	3,218,116				
(間接経費)						
間接経費	30,877	125,391				
総コスト	35,301,796	40,123,642	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的公文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼ワークショップ「ムサシメ丸君のドキ土器夏休み」ほか 1,560人 ▼令和3年度府中の発掘お宝展 19,967人 	<p>開発者への問合せ対応や、市民への周知に効果が高いことから、文化財情報データベースシステムを引き続き運用した。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年度に引き続き、くらやみ祭展の中止や、子供向けのワークショップを持ち帰り企画として開催するとともに、発掘成果を公開する「発掘お宝展」や、歴史館収蔵資料の展示等を行い、約1か月間臨時休館を実施した中ではあったが、来館者数は回復傾向にある。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的公文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展の開催 ▼夏休み期間中等の子ども向けワークショップの開催 ▼特別展：府中の発掘お宝展の開催 	<p>ふるさと府中歴史館の管理運営のほか、歴史的公文書資料の収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムについても引き続き運用し、くらやみ祭展や夏休み期間中等に子供向けのワークショップを開催するとともに、長年にわたる発掘調査を基にした特別展を開催し、発掘成果を公開</p>

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的公文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼ワークショップ「ムサシメ丸君のドキ土器夏休み」ほか 871人 ▼令和4年度府中の発掘お宝展 43,746人 	<p>開発者への問合せ対応や、市民への周知に効果が高いことから、文化財情報データベースシステムを引き続き運用した。また、マイナンバーの交付やマイナポイントの相談窓口の混雑解消のため、当館の1階に窓口を設置したことに伴い、普段来たことの無い方にも当施設を知っていただく良い機会になった。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的公文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展の開催 ▼夏休み期間中等の子ども向けワークショップの開催 	<p>マイナンバー窓口との共存を図ったふるさと府中歴史館の管理運営を行うほか、歴史的公文書資料の収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムについても引き続き運用し、くらやみ祭展や夏休み期間中等に子供向けのワークショップを開催する</p>

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	<p>今後も、マイナンバーの交付窓口等との共存を図り、新型コロナウイルス感染症防止対策を継続したうえで、発掘調査成果の公開展示をはじめ、くらやみ祭などのイベントに合わせた展示等を行い、今後も身近な教育の場となるよう努め、来館者の増加を図っていく。</p>
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		1 見直し・縮小
		2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止等		1 休止
		2 廃止
		3 完了

(単位:円)

6 構成事業一覧

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1540500	ふるさと府中歴史館管理運営費 管理委託料	15,256,000	12,908,940	10,228,000
2	01	50	30	10	1540510	ふるさと府中歴史館管理運営費 光熱水費	4,016,000	7,884,898	8,163,000
3	01	50	30	10	1540520	ふるさと府中歴史館管理運営費 諸経費	2,888,000	3,187,383	2,789,000
4	01	50	30	10	1554790	ふるさと府中歴史館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							23,160,000	23,981,221	22,180,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営事業			事務事業コード	30450500
概要	国史跡 武蔵府中熊野神社古墳展示館の管理、運営				
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	45	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	平成23年度～
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり				
根拠法令等	府中市国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の管理及び運営に関する規則、府中市文化財の保存及び活用に関する条例、東京都文化財保護条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	古墳見学者				
事業目標	国史跡武蔵府中熊野神社古墳の見学に際して、より古墳の意義の理解を促し、府中市の歴史を学習できる場とする。さらに、隣接する熊野神社や、熊野神社古墳公園との協力を図り、市民と協働での活用を支援する				
事業内容	墳丘土層標本や調査中の写真、解説パネル等を設置し、熊野神社古墳の魅力を発信するための施設として、国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の建物管理及び入館者への説明対応などを行う。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館入館者数	9,160	計画値	10,000	10,800	11,600	12,500	12,500	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	6,147	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症防止のため、令和3年度に引き続き、古墳まつりや熊野神社の例大祭などが中止になったことから、入館者数は基準値及び計画値に達しなかった。														
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※)要因の種類
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	8,242,000	9,022,000	9,135,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,242,000	9,022,000	9,135,000	0	0	0
予算現額	8,242,000	9,187,000	0	0	0	0
決算額	7,559,689	8,541,711	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,559,689	8,541,711	0	0	0	0
執行率	91.7%	93.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.40	0.40				
職員人件費	3,133,923	3,199,728				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	8,821	19,290				
総コスト	10,702,433	11,760,729	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の業務運営 (受付等) ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の総合管理 (害虫除去、清掃、除草、警備、消防設備・エレベーター保守、AEDリース) ▼見学者への説明対応 ▼トイレの常時利用対応 ▼新型コロナウイルス感染症防止対策 	<p>新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年度に引き続き、臨時休館や石室の見学を継続して中止にした。さらに、古墳まつりや熊野神社の例大祭なども中止になったことから、入館者数は昨年同様の人数になった。今後も、国や都の動向を踏まえ、感染拡大防止に万全の対策を取りながら、説明対応を継続し、身近な教育の場となるよう努めていく。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の業務運営 (受付等) ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の総合管理 (害虫除去、清掃、除草、警備、消防設備・エレベーター保守、AEDリース) ▼見学者への説明対応 ▼トイレの常時利用対応 ▼新型コロナウイルス感染症防止対策 	<p>新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、武蔵府中熊野神社古墳展示館の業務・管理運営や、入館者への説明対応を継続する。また、武蔵府中熊野神社古墳公園の第2期整備工事終了までの間、公園利用者でもトイレが利用できるよう展示館施設のトイレ常用対応を継続する。</p>

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の業務運営 (受付等) ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の総合管理 (害虫除去、清掃、除草、警備、消防設備・エレベーター保守、AEDリース) ▼見学者への説明対応 ▼トイレの常時利用対応 ▼新型コロナウイルス感染症防止対策 	<p>新型コロナウイルス感染症防止のため、令和3年度に引き続き、古墳まつりや熊野神社の例大祭などが中止になったことから、入館者数は基準値及び計画値に達しなかったが、団体見学申込み数や、入館者数は昨年度より増加した。また、石室復元展示室の見学について、令和4年5月下旬から、約2年2か月ぶりに再開した。今後も、国や都の動向を踏まえ、感染拡大防止に万全の対策を取りながら、見学者への説明対応を継続し、身近な教育の場となるよう努めていく。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の業務運営 (受付等) ▼武蔵府中熊野神社古墳展示館の総合管理 (害虫除去、清掃、除草、警備、消防設備・エレベーター保守、AEDリース) ▼見学者への説明対応 ▼トイレの常時利用対応 ▼新型コロナウイルス感染症防止対策 	<p>新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、武蔵府中熊野神社古墳展示館の業務・管理運営や、入館者への説明対応を継続する。また、武蔵府中熊野神社古墳公園の第2期整備工事終了までの間、公園利用者でもトイレが利用できるよう展示館施設のトイレ常用対応を継続する。</p>

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
<p>A 重点化・拡大して継続</p> <p>B 現状のまま継続</p> <p>1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</p> <p>2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</p> <p>3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</p> <p>C 見直して継続</p> <p>1 見直し・縮小</p> <p>2 他事業との整理・統合</p> <p>D 休止・廃止等</p> <p>1 休止</p> <p>2 廃止</p> <p>3 完了</p>	<p>B</p> <p>1</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、教育施設としての目的を果たせるよう、見学者への説明対応に努めていきたい。 また、古墳公園の第2期整備工事終了に合わせ、古墳公園を含めた一体的なPRをし利用促進につながるよう努めていきたい。</p>

(単位:円)

6 構成事業一覧

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1540600	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 業務運営委託料	3,276,000	3,181,339	3,363,000
2	01	50	30	10	1540610	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 管理委託料	4,436,000	4,040,762	4,345,000
3	01	50	30	10	1540620	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 光熱水費	833,000	1,042,349	960,000
4	01	50	30	10	1540630	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 諸経費	477,000	277,261	467,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							9,022,000	8,541,711	9,135,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	府中市史編さん事業				事務事業コード	30450600
概要	府中市史編さん事業の推進					
総合計画	基本施策	3	文化・芸術活動の支援	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課	
	施策	45	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	平成26年度～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	無					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	府中市史編さん					
事業目標	市制施行70周年に向けて、令和5年度までに市史の資料編及び通史編の刊行物の発行を完了させる。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん審議会が策定した「府中市史編さん方針」等に基づき『新 府中市史』を発行する。 ・編さんにあたっては専門部会を設置し、『府中市史』発行後約半世紀の変化や、多岐にわたる学問分野における新たな資料の蓄積を内容に加えて、計画的に作業を進める。 ・講演会の開催や「市史編さんだより」の発行等、市民に向けた広報活動を行う。 					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	44,533,000	52,081,000	73,907,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	44,533,000	52,081,000	73,907,000	0	0	0
予算現額	44,533,000	48,540,000	0	0	0	0
決算額	33,334,894	27,416,183	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	33,334,894	27,416,183	0	0	0	0
執行率	74.9%	56.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	5.00	4.00				
職員人件費	39,174,035	31,997,284				
月額制会計年度任用職員数	7	7				
月額制会計年度任用職員人件費	22,740,844	22,526,812				
(間接経費)						
間接経費	265,563	530,507				
総コスト	95,515,336	82,470,786	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼専門部会による資料収集、調査研究を継続実施する。 ▼「新 府中市史」刊行物の編集発行 ①「近世資料編中・下」(編集)②「近現代資料編下」編集発行③市史研究④古文書調査報告書	▼事業計画を再確認し、刊行物の発行予定に適正な修正を加え、編集発行した。 ▼コロナ禍のできる限りの資料収集、調査研究を行い、その成果を蓄積した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼専門部会による資料収集、調査研究を継続実施する。 ▼「新 府中市史」刊行物の編集発行。①「近世資料編中」②「近世資料編下」③「原始古代通史編」④「中世通史編」⑤「近現代通史編上」⑥市史研究 ▼市史講演会を数回開催する。	▼見直し・修正した発行予定に合わせ、刊行物を編集発行する。 ▼通史編の編集に重点的に取り組み、遅滞なく発行する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼専門部会による資料収集、調査研究を継続実施する。 ▼「新 府中市史」刊行物の編集発行 ①「近世資料編中」発行②「近世資料編下」発行③「原始古代通史編」編集④「中世通史編」編集⑤「近現代通史編上」編集⑥市史研究	▼事業計画を再確認し、刊行物の発行予定に適正な修正を加え編集発行したが、一部刊行物に遅れが生じた。 ▼コロナ禍のできる限りの資料収集、調査研究を行い、その成果を蓄積した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼専門部会による資料収集、調査研究を継続実施する。 ▼「新 府中市史」刊行物の編集発行。①「原始古代通史編」②「中世通史編」③「近世通史編」④「近現代通史編上」⑤「近現代通史編下」⑥「自然通史編」⑦「民俗通史編」⑧「考古・美術工芸通史編」⑨市史研究 ▼市史講演会を数回開催する。	▼見直し・修正した発行予定に合わせ、刊行物を編集発行する。 ▼通史編の編集に重点的に取り組み、遅滞なく発行する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	C	令和6年の市制施行70周年を機に事業全体を完了させる計画となっており、令和5年度末までに市史刊行物を発刊し、令和6年度は配布・頒布を行うとともに、索引、年表、地図、正誤表を作成し、市ホームページ上で公開する。寄贈資料、市史刊行物の後継機関への移管を行い、市史編さん体制は解散となる。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		1 見直し・縮小
		2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止等		1 休止
		2 廃止
		3 完了

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1521610	市史編さん審議会運営費	336,000	89,277	336,000
2	01	50	30	10	1521700	市史編さん事業費	51,745,000	27,326,906	73,571,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							52,081,000	27,416,183	73,907,000